

## 全体朝礼 挨拶

皆さん、おはようございます。

2学期も早いもので12月となり、秋を感じることも少ないままに、冬を迎えた感があるこの頃となりました。

先月行われた文化祭や体育祭も、私にとっては、コロナ禍前より5年ぶりとなる隼工の行事でしたが、皆さんと一緒に楽しませて頂きました。

また2学期始業式からの間にも、今も表彰を行いました体育・文化、両面の、皆さんの数々の活躍ぶりは、日頃の朝夕地道な積み重ねが発揮されたこととして、喜びに堪えません。

全国高校生ものデザインコンテストの最優秀賞、全国高校ロボット競技大会で8位入賞の活躍など、その活躍は、隼工の組織を共にする生徒・職員・保護者・卒業生の誇りとなり、次への勇気ともなります。

会議に出かけても皆さんの地元の小中学校関係者や、企業の方々から「隼人工業は勢いがありますね」と声をかけられるほど、注目を集めています。

先日は、皆さんの活躍を称え、感じ入った先輩が福岡から来校されました。

先輩は、1955年、昭和30年に本校を卒業され、御年87歳を数える先輩で、若い頃に福岡県で設備事業を起業し、幅広い分野を手がけつつ、若手育成・業界発展のために訓練校の設立と発展に自らの人生という時間をかけ、大きくご尽力なされ、今年、天皇陛下の御裁可を得て、国から春の叙勲を受けられた方で、皆さんの数々の活躍を大変喜んでいらっしゃいました。

この様に、物心ともに支えてくださる方々の想いに感謝をしつつ、「伝統を引き継いだ我々によって、隼工発展こそが、その想いに報いることとなるのだ」と、再認識をしたところです。

(皆さん、目を閉じて聴いてください。)

「一灯照隅，万灯照国」という言葉があります。「一つの灯火だけでは、隅しか照らせないが、万の灯火あらば、国中をも照らすことができる。」という意味のことばです。

(目を開けてください。)

チーム隼工の一員として、その活躍に喜びと誇りを抱かせてくれる皆さんへの感謝と、その感謝を抱かせてもらったことに対して、級友・部員、職員として、また保護者、卒業生として、隼工の為に何ができるかということ、一人でなく、皆で協力して考え行動することが、隼工の更なる発展、ひいては、隼工の一員としての皆さんの存在価値を、自らが見出すチャンスとなるのではないのでしょうか。

「皆さんの隼工」の、益々の発展と、「自己の成長」を期待して、本日の挨拶といたします。